

平成 27 年 10 月 9 日

魚沼市議会議長 浅 井 守 雄 様

総務委員会

委員長 遠 藤 徳 一

総務委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第 110 条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 所管事務調査について
(2) その他
- 2 調査の経過 10 月 9 日に委員会を開催し、上記事件について調査を行った。
所管事務調査で公共交通について、地域公共交通総合連携計画の進捗状況中間評価及び地域乗合タクシー等利用実態調査について執行部より説明を受け、質疑を行った。

総務委員会会議録

1 調査事件

(1) 所管事務調査について

(2) その他

2 日 時 平成 27 年 10 月 9 日 午後 4 時

3 場 所 広神庁舎 301 会議室

4 出席委員 富永三千敏、岩井富士夫、大平栄治、遠藤徳一、大屋角政、森山英敏
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 酒井企画政策課長

7 書 記 小幡議会事務局長、櫻井議会事務局次長

8 経 過

開 会 (16 : 00)

遠藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから総務委員会を開会いたします。それではこれより議事に入ります。

(1) 所管事務調査について

遠藤委員長 日程第 1、所管事務調査についてを議題といたします。公共交通については、決算質疑等におきましても数名の議員から質疑がありました。本日は、地域公共交通総合連携計画の進捗状況中間評価及び地域乗合タクシー等利用実態調査について執行部から資料が提出されていますので、まず執行部の説明を求めます。

酒井企画政策課長 (資料「地域公共交通総合連携計画の進捗状況中間評価」及び「地域乗合タクシー等利用実態調査」により説明)

遠藤委員長 まず、地域公共交通総合連携計画の進捗状況中間評価のほうから質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

森山委員 委託先の N C E はどういう組織ですか。

酒井企画政策課長 コンサルタント会社でありまして、N C E 株式会社といたします。

森山委員 このコンサルタント会社に委託したということだそうですが、市の企画政策課としては何もしていないということですか。

酒井企画政策課長 公共交通協議会へ市が負担金を出して、公共交通協議会が中間評価を行ったということでもあります。

遠藤委員長 ほかにありませんか。

大屋委員 8 ページ、この魚沼基幹病院等を見据えた路線バスの再編については、評価はCとこれから検討をしていくということですが、これについては実際に動き出すのは、平成 27 年、28 年度中に検討を加えるということですか。

酒井企画政策課長 公共交通の路線として変更等認可をしてもらうには前の年の 9 月までに提出する必要がある、この 9 月までに終わってれば平成 28 年の 4 月から変更ができたと思っていますが、今のところ担当のほうでシャトルバスというか直通バスを出しているのもその関係が強かったことと、その検証をやってから進めるということでありましたので、今検討を進めています。来年 9 月までに手続きを終わらせて平成 29 年 4 月からできれば運行したいという話です。

遠藤委員長 ほかにありませんか。

森山委員 7 ページ、小出インターチェンジ駐車場の整備状況について、先ほど課長のほうから冬季の問題、除雪の問題があることの話がありました。利用者から冬季は大変なことになっているということで、簡単に言うとバスに乗って関東に行って、帰って来たら車が雪の中に埋まって出られなくなったという話もあって、非常にいろいろ問題があるんですが、これはやはり消パイとか電熱とか無雪化を図るべきと思いますが、その部分はどこが担当するのですか。

酒井企画政策課長 ここの調整についてはまちづくり室の公共交通担当で今対応しています。つくる時から水は心配していたんですが、出ないという話であったのでそこはもう仕方ない、あとは除雪をどうするかということでした。1 度車が止めてあると雪が降るともう押していけない、雪が落ち着くまではいない時を見計らって後ろに押し付けてやっていると、それがだんだん溜まってくると最大でも 15、16 台しか止まらないというのが現状です。今それをどうするか、いい方法が今のところ考えられないということで課題となっているのが実情です。

森山委員 ここは水が出ないという話ですがどこまで調査したか、掘ったけど出なかったのかちょっとわかりませんが、周りの人はほとんど消パイでしているような気がするんですが、例えば高速道路の管理棟の脇の駐車場がありますし、交差点の反対側にセブンイレブンができましたが多分そういうことでやっているじゃないかと思うんですが、どういったことで出ないと判断をされたんですか。

酒井企画政策課長 文化会館の駐車場は消パイをしています、あれもそこで掘っているのではなくて、別のかなり遠い所で掘ってそれを引っ張って出しているという状況があったので、そこで判断したということであの付近で掘ったわけではないんですが、その状況を勘案して出ないと判断したと聞いています。

森山委員 そうすると文化会館は下から汲み上げているから、多分出ないからそういう方法を取り掘らなかったんだらうということですが、もう少し周りの地下水の利用状況を調査すれば掘れば出る可能性は私はあると思うので、その辺はもう一回よく周辺を調査して何とか消パイ施設を導入するというで検討していただけないでしょうか。

酒井企画政策課長　　すぐ掘るという話はできませんが、もう一度調査をかけて検討してみる必要はあると思いますので進めていきたいと思います。

大屋委員　　関連しますが仮に消雪パイプが無理だということになった場合に、家庭用で言えば電気を通して雪を消すとかそういう技術はあるわけですね。そういう点で地元のものづくり委員会と連携しながらそういったものの開発も含めてやったらどうかなと思うんですが。

酒井企画政策課長　　今でもロードヒーティングはありますし、コストの面もありますので研究をした中で考えていきたいと思います。

富永委員　　地域公共交通というのはやはり幹線道路をメインに多分走っていると思うんですけど、今回の中間検証の中には詳しく出ていないんですけども利用者の検証ですよ、それは書いてあるようですが、地域住民は幹線道路ではなくて昔の旧道付近とかに居住している人が多くて、特に高齢者だと自分の家から幹線道路までのバス停までの移動が大変だということもあると思うんですが、その辺の改善の計画というかそういった検証のようなものが載っていないと思うんですが、その辺は今後の計画の中に反映するのですか。

酒井企画政策課長　　幹線については路線バスが走っていますのでそれをメインにして、同じ所を走り競合するということで、要は広神地域ですと中子沢から走って来るとかそういう路線をしています。先ほど言いましたように守門・入広瀬以外は小出地域まで乗り入れが可能となっていますし、守門・入広瀬地域は南越後観光の幹線バス・路線バスの所に接続するという格好にしてあります。検証というよりも今の実態では集落支援員が入った中で聞き取りをしたり、周知をすることでもう少し利用が上がるのではないかとということで進めています。後はその都度区長さんのほうから時間等について情報をいただいた中で検討しながら進めていくので、今のところ改めて全部の所にするということはないです。

富永委員　　確認ですが次回の計画には運行経路の変更は考えないということでしょうか。

酒井企画政策課長　　今回のアンケート調査と検証それと地域公共交通協議会のほうでもいろいろな方が出て来てもらっていますのでその意見も聞きながらではありますがその変更も今後の計画ではあり得ると思っていますし、そういうふうに又利用が上がるようなことで考えていきたいということで進めるようにしたいと思っています。

遠藤委員長　　ほかに質疑はありませんか。最初の資料の方はこれでよろしいでしょうか。(はい) それでは続きまして、地域乗合タクシー等利用実態調査の資料の方について質疑を受けたいと思います。

森山委員　　この小出まちなか循環線ですか、これはあまり利用者が少ないということでいろいろ集計がなされていますが、私は勉強不足でどういうダイヤで動いているのか確認してないんですけど、同じ方向でしかグルグル回っていないのかなという感じがするんですがその辺についてはどうなんですか。

酒井企画政策課長　　小出まちなか循環線は 30 分おきに同じ方向にずっと回っています。人が乗る、乗らないに関係なく動いています。小出地域乗合タクシーはそうじゃなくて 1 時間おきに予約があった場合に動いているということで、このまちなか循環線を小出駅から遠くは小出病院、広川医院、小出庁舎ぐらいの範囲です。乗合タクシーについては岡新田とかそちらまでも予約があれば行くというふうなことでなっていて、なかなかわかりに

くいような格好にもなっているんですが、バス・乗合タクシー時刻表のように、まちなか循環線、これは小出地域乗合タクシーということで範囲が広いということと1時間に1本予約が必要だというようなことから利用が少ないのもあるのではと思っております。

森山委員　まちなか循環線が、小出駅から出てぐるっと回っているのは理解できましたが、普通に歩ける人だとバスに乗らなくても、例えば5分とか10分歩けば十分に半分ぐらい歩ける距離なので、30分バス停でバスが来るのを待つというのは少し利用しにくい状況だと思います。狭い中だと利用が増えるというのは考えられないような感じがするんですが、もう少し範囲を1回広げてみる必要があるのかなという気がしますが、反対に回る、交互に回るということはできないのか、その辺はどうですか。

酒井企画政策課長　定かではないのですが前のコースはもう少し広がったと思います。それに時間もかかるし、堀之内もあったので小さくしたというのが一つで使いやすくなりました。30分というのはそこで待つか待たないかというよりも30分の間に用を足してすぐに乗るとか、1時間で乗るとか、そういった意味で30分の間隔でも十分でないかということで、ほかで用を足してから来るという意味を考えると十分でないかと思っています。もう一つ、反対周りというのはたしかに考えられますので、それは検討の余地があると思いますのでその辺はもう少し話をしてみたいと思います。

大屋委員　アンケートでも出ていたんですが、時刻表だとかルートだとか1番目と関わりがあるんですけど接続時間とかそういったものがわかりやすくできているのかなという感じがあったんです。総務委員会で乗合タクシーに乗って大白川に調査に行ったら、只見線に乗る場合はちょっと時間がギリギリでした。そういったところはある程度改善はされていると思うんですが、今後わかりやすい時刻表と携帯できる大きさのものがほしいという方が多いんですが、そういったものは現状ではどうでしょうか。

酒井企画政策課長　この前指摘のあったところについては時間確認をして修正をしたと思っていますし、ほかのところについても確認をして接続時間が合うようにしてあるはずですが、ただ路線バスと只見線が両方あったりする場合には若干待つ時間が増えたりすることはありませんが接続するようにつくってあります。携帯できる大きさのものということですが、今配ってあります両面のもので自分の必要な所は切って使っていただくとか。ばらばらに配るのも大変な面もありますので、やっぱりこれを基本にしてもらうのが1番です。今後の検討課題ということで考えたいと思いますが、地域別に配るのも非常に大変な面もありますしその辺少し考えさせてください。

大屋委員　おそらくバスとか乗合タクシーに乗る場合、目的があって乗ると思うんですよ。目的がなくてぶらぶらするという方もいらっしゃると思うんですけどもそういう点で、1番利用する施設あるいは利用する場所がどこなのかということも大体わかっていると思うのでそういった所への接続、例えば小出病院に行くには入広瀬からだとかいうルートがいいとか、いろいろな方法があるかと思うんですがその辺はどうですか。

酒井企画政策課長　そこまで全てのものを出すのは、今の現状では厳しいと思います。それぞれ自分の利用するところをご覧いただいて、自分で路線バスと只見線の接続を確認していただくというのがこちらから願うところですので、これについては同じようにさせていただきたいと思います。ただ、出前講座とか地域の要望があった場合には、その説明

はできますけれど、全体として皆にやるということはすみませんが考えていません。

大屋委員 若い方の利用というのがどれくらいあるかわかりませんが、若い方はそれを見て恐らく接続の時間とかすぐに理解できると思うんですが、70 歳、80 歳になった方がそれができるかなあという感じがします。やはり自動車に乗れない方や高齢者の方が大体利用されていると思いますので、そこを考えた上で今後検討していただきたいと思いますがいかがですか。

酒井企画政策課長 例えば、守門でしたらどこからのバス停が小出に繋がるのに 1 番便利かということについては、時刻表に色を付けるとか、そういったことは可能ですので考えていきたいと思っています。基本的に守門・入広瀬以外は小出市街地に入ることがメインになっていますので、それはそれで考えていただければと思います。問題は守門・入広瀬地域の乗り合せをどうするかということが中心になるかと思っていますので、その辺は少し検討したいと思っています。

森山委員 小出まちなか循環線ですが、26 ページに利用者数の月間のグラフがあり、月平均利用者数 100 人というようなことですが、その上には 30 人というようなところもあり、結構使っているのかなと思いました。ただ便数がどの程度なのか 1 日どの程度回っているのか集計がないのですが、1 便当たりどれくらい使っているのかわかりますか。

酒井企画政策課長 それを積み重ねてこれが出ていると思います。小出まちなか循環線は 1 日 10 便あります。単純に月平均でこれを割り返せば 1 便 10 人程度と平均ですとなります。平均でいうと小出まちなか循環線は月平均約 100 人となっていますけども 1 日 10 便あるので 1 便につき平均が 10 人に単純計算ではなると思います。

遠藤委員長 しばらくの間休憩します。

休 憩（16：45）

休憩中に懇談的に意見交換

- ・月平均利用者数等について確認

再 開（16：55）

遠藤委員長 休憩を解き会議を再開いたします。本件につきましてはいろいろと委員の方から質疑がありましたが、本日初めて配布された資料という事でなかなか目配せの方も行き届いていないところもあろうかと思います。今後の対応策等についても資料に示されていますし、公共交通については市民の求める高い行政サービスと考えておりますので、当委員会といたしましては今後も引き続き調査をしていくということでまとめさせていただきます。本件については以上といたします。

（２）その他について

遠藤委員長 次に、日程第 2 に入ります。執行部から報告事項等はありませんか。（なし）

委員の皆さんから、ご意見・協議事項等はありませんか。

岩井委員　この前も案内させていただいたのですが、入札の件で私も一般質問でまだ納得がいかないところがありましたので、ぜひ所管事務の中で取り上げていただきたいということで皆さんにお諮りいただきたいと思いますが。

遠藤委員長　今、岩井委員の方から提案がございました入札システムですが、議員にもそれがうまく周知されていない部分もあるので、委員会で所管調査の中で取り上げていただけないかと提案がありました。これについては執行部など相手方もあることで、内容あるいは開催時期について検討しながら所管事務でやっていくという方向でよろしいですか。（異議なし）執行部と相談し日程を調整したいと思います。ほかに質疑はありますか。（なし）本日の会議録の作成については、委員長に一任願います。本日の総務委員会は、これにて閉会します。

閉　　会（16：56）